



自衛隊の国民監視に怒りを込めて抗議する(6月14日、憲政会館)



No.397

編集発行人 中西三洋

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
http://www1.plala.or.jp/chian
定価 50円

悪政の暴走に痛打を

— 参議院選挙へ —

主 な 記 事

- 自衛隊の国民監視活動をただちに中止せよ
- 国会請願紹介議員一覧
- 自衛隊の違憲・違法の国民監視活動を糾弾する／増本一彦
- 顕彰碑／鎌倉・荻田アサノ
- 時の焦点／自公政権の「教育改革」
- 抵抗の群像／福岡醇次郎・長崎県
- 同盟歌壇／碓田のぼる選
- 映画／「日本の青空」

7 7 6 5 5 4 3 2

参議院選挙たけなわ。お互いに猛暑の中、さらに熱く激しく燃えて奮闘中のことと思います。

安倍自公政権の悪政の暴走。今通常国会、延長前までの百五十日間で、改憲手続き法、教育三法、イラク派兵法など強行採決がなんと十四回。延長国会でも、公務員天下り自由化法案や消えた年金関係法案など、国民の目を欺き支持率挽回を狙って、さらに強行採決を企てています。明るみに出た国民監視のいわゆる「憲兵政治」の一端や年金記録喪失問題、そして庶民大増税の強行など、議会制民主主義や国民の基本的的人権はもとより、国家統治機能まで、いま累卵の危機に直面しています。

七月末の参議院選挙は文字通り、「世直し選挙」となっています。しかも半数改選の選出の百二十一名の新議員の任期は六年。任期中おそく憲法改定の発議の是非を担当します。

この夏七月、わが同盟も、他の民主団体・勢力同様、独自課題を追求しながらも、基本は「なにをおいても参議院選挙」です。

「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」、この同盟の旗印はまさに情勢にピッタリと適合。いま怒りの頂点に達した国民のさまざまな運動と手を結んで、全国各地でたたかいをすすめましょう。

自衛隊の国民監視活動をたち中止せよ！

怒りを広げ参院選で痛打を

宮城県 大沼耕治

日本共産党が明らかにした自衛隊の国民監視活動について、その情報が東北方面情報保全隊のものであったこともあって、県内ではあの集会、この行動も自分が参加した行動が監視されていたのかと多くの人が怒りの声をあげています。さらに仙台市長が「これは当然の活動」と監視活動を容認発言したことが怒りを広げ、抗議活動を強めています。

六月二十三日開いた「同盟」宮城県本部の第十七回総会でも、「まさに戦前の特高」「戦争への道は、国民を監視抑圧することと不可分」と論議。自衛隊を糾弾・抗議し中止を求める特別決議を採択、東北方面総監部に抗議することになりました。また、参議院選挙

で、戦前の時代を知っている国賠同盟ならではの役割を發揮し、靖国派内閣と改憲勢力に痛打を与えるため奮闘しようと確認しました。

主権在民への挑戦

沖縄県 上山青一

自衛隊による国民監視の実態が暴露され、多くの人々の怒りが高まっています。もともと自衛隊の存在そのものが問題ですが、国民への監視活動を断じて許すことはできません。とくに、沖縄は、新たな基地建設にたいする県民の怒りの行動が高まっており、これを監視するスパイ行動は、まさに犯罪行動そのものです。

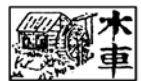
広範な国民の怒りの声をあげ、こうした犯罪的スパイ行動をやめさせなければなりません。このような犯罪行動を放置したのは、まさに戦前のようなひどい状況に押

し戻されることになる恐れがあります。主権在民、平和と民主主義の路線を断固として守り抜く一人ひとりの自覚した行動が高まることによってこそ、権力の圧力をはねかえす力が大きく高まってくるのです。このことを一人ひとりが自覚して、許しがたい攻撃をはねかえしていこうではありませんか。

同盟中央が政府に抗議

自衛隊情報保全隊による調査・

スパイ活動は、単にイラク派兵反対の動きだけでなく、国民の切実な要求や言論、集会の自由をも侵害する監視活動とそれを記録している。このことは明らかに違憲・違法であり、戦前の暗黒政治・治安維持法体制の復活を想起させる行為であり、怒りを込めて抗議する。その資料によれば、われわれ治安維持法国家賠償要求同盟の活動までも監視・記録されている。再び戦争と暗黒政治を繰り返さないために、その全容の公表と国民監視活動の即時中止を要求するものである。(要旨)



木車

ドイツでのサミットが温暖化対策で合意し、来年の洞爺湖での会議の主催国としての日本もその実

行の責任を求められている▼過日の「骨太の方針」は、これに関して「環境立国戦略」と銘打って対策を打ち出したが見過ごすことが出来ないのは「サマータイム」の早期実現の検討」を冒頭に掲げていることだ▼サマータイム(夏時間)は、戦後日本でも占領軍の意向で実施された(一九四八・五二年)が散々の不評で、講和とともに中止になった。一年のほぼ半分を時刻を一時間繰り上げる制度が、いかに労働強化、通勤混雑、生活リズムの狂い等につながったか▼ホームページ等に見るここ数年の反対論の論調は忌まわしい回想に裏打ちされている感じだ▼そして「なぜ夏時間が温暖化対策になるのか分からぬ」との声も。前内閣のときのサマータイム「推進議連」の責任者平沼赳夫氏が「戦後レジーム」にとっている態度と合わせ考えると、皮肉等とすませられない大きな問題を感じさせられる。

同盟第33回全国大会

とき 9月12日(水)～13日(木)
ところ 全労連会館

国会請願紹介議員一覧

7月2日現在

衆議院

民主党・
無所属クラブ

大島 律夫 細川 克彦 横光 一博 原口 一成 古賀 史成 川内 博史 松本 龍文 平野 博文 山井 和則 田島 一成 奥村 展三 市村 浩一郎 土肥 隆一 藤村 修一 小川 淳也 津村 啓介 柚木 道義 古川 元久

近藤 昭一 牧野 義夫 細野 豪志 渡辺 周功 岡本 充吉 前田 雄治 菅井 直人 菅山 洋子 小宮 義規 末松 義学 寺田 洋介 近藤 洋子 郡 和子 田名 匡代 渡部 恒三 安住 淳 羽田 孜 西村 奈美 菊田 紀子 筒井 信隆 篠原 信孝 松本 謙公 三井 辨雄 佐々木 隆博

仲野 博子 金田 誠一 太田 和美 後藤 正春 中川 誠司 前原 誠司 塩川 鉄也 赤嶺 政賢 吉井 英勝 穀田 憲二 石井 郁子 佐々木 憲昭 笠井 亮 高橋 千鶴 志位 和夫

日本共産党

自由民主党

田村 公平

参議院

民主党・
無所属クラブ

広田 五月 江田 耕平 大塚 八洲 山下 千秋 高橋 泰介 佐藤 哲也 榎本 祐司 藤本 輝彦 増子 トミ子 岡崎 トミ子 田名 匡省 角田 義一 北澤 俊美 羽田 雄一郎 峰崎 直樹 小川 勝也 若林 秀樹 大石 正光 下田 敦子 千葉 景子 浅尾 一郎 小林 元

日本共産党

緒方 靖夫 小林 恵子 紙智子

吉川 春士 井上 哲平 仁比 聡平 大門 実紀 市田 忠義 小池 晃

社会民主党・
市民連合

近藤 正道 田 英夫 淵上 貞雄

無所属

鈴木 陽悦 黒岩 宇洋

最近10年間の
国賠署名数推移

(個人・団体署名の計)

年度	署名数
1998	316,000
1999	300,000
2000	338,000
2001	270,000
2002	316,000
2003	325,000
2004	342,090
2005	320,744
2006	312,777
2007	307,016

注：この一覧は会期延長のため最終報告ではありません。

衆議院議員 計六三名
参議院議員 計四六名
合計 一〇九名

年度別国会紹介議員

年度	衆議院	参議院
一九九四年	三九名	
一九九五年	六二名 (+24)	
一九九六年	六九名 (+7)	
一九九七年	七四名 (+5)	
一九九八年	八九名 (+15)	
一九九九年	一四四名 (+26)	
二〇〇〇年	一四〇名 (+25)	
二〇〇一年	一五一名 (+11)	
二〇〇二年	一六〇名 (+9)	
二〇〇三年	一七四名 (+14)	
二〇〇四年	一四五名 (+29)	
二〇〇五年	一二九名 (+16)	
二〇〇六年	一〇八名 (+21)	
二〇〇七年	一〇九名 (+1)	

去る六月六日に日本共産党によって公表された陸上自衛隊情報保全隊による全国的規模にわたる国民監視活動の報告文書は、自衛隊という存在そのものが国民に敵対するものであることをあからさまに示しました。自衛隊は国民の平和と民主主義と暮らしを守る運動に参加する人々を『(監視) 対象勢力』と呼んでいるのです。

この報告文書は、自衛隊のイラク派兵に反対する世論が国内外で盛り上がり、全国各地で無党派層を広く結集した市民集会とパレード(デモ)が行われた二〇〇三年十二月から翌年三月までの各地の市民運動と集会などを監視し記録したもので、多数の市民が実名で記載され、行進や集会の写真まで掲載されています。しかも、監視の対象は、イラク派兵に抗議するものにとどまらず消費増税反対や社会保障改悪反対の市民運動にも向けられています。

こうした監視活動は、公表された文書にある期間だけでなく、日常的に行われていることは、文書の公表された後の防衛省の発言

によっても明らかです。

治安維持法と同じ発想

このような自衛隊の市民・国民監視行動は、自衛隊法等の法的根拠もない権力乱用の違法行為であるばかりか、憲法が民主主義社会の最も重要な基本的人権として保障している言論・表現の自由と集会・結社の自由を蹂躪する憲法違

し、スパイ活動の対象としていることを重視する必要があります。それは、自衛隊の海外派兵反対運動と結びつくおそれのある運動であるならば、すべてを抑え込もうという、治安維持法時代の「国体の変革を目的とする結社のためにする行為」(目的遂行罪)ならばすべてを弾圧することと同じ発想に立っているからです。

自衛隊の違憲・違法の国民監視活動を糾弾する

本部副会長

増本一彦

反の行為であることは言うを待たないことです。

「治安出動」の前ぶれ

「消費税 憲法変われば 戦争税」「社会保障を削って、戦争準備」という声がイラク派兵以後の消費増税反対運動や社会保障改悪反対運動に広がり、これらの運動の質と広がりが大きく変えてきたのですが、自衛隊はイラク派兵のみならず国民の暮らしと結びついた市民運動をも敵視し、監視

すでに、有事法制と国民保護法制が存在し、自衛隊の海外派兵と戦争のもとでは、国民の戦争反対運動に対する自衛隊の『治安出動』もあり得るのですから、自衛隊情報保全隊の国民監視・スパイ活動は、自衛隊の『治安出動』のための準備行動であるとも言えるのです。

九条が改悪され、戦争をするための自衛隊の海外派兵が自由になると、軍事裁判所(軍法会議)が生まれ、公然たる憲兵制度が復活し、国民は警備公安警察と自衛隊(軍隊)の双方からの監視と取締りと弾圧を受ける危険にさらされることになります。

国民の闘いが高揚したとき、軍隊が弾圧に乗り出した歴史は自由民権運動や米騒動にありましたが、治安維持法犠牲者の中にも、憲兵と軍法会議による弾圧を受けた人々がいたのです。そして、戦後の六〇年安保闘争のときにも、当時の岸信介内閣のもとで自衛隊の治安出動が検討されたのです。

同盟が掲げる「再び戦争と暗黒政治を許さない」という基本要求は、今回の自衛隊による市民監視・情報収集活動の実態の一部が明らかになったことによっても、ますます切実で緊迫した国民要求であることを示しております。

私たちは、自衛隊のこのような違憲・違法な行動を断じて許さない世論を大きく広げるために、さらに奮闘しようではありませんか。

顕彰碑 探訪

古都鎌倉

東慶寺に眠る苧田アサノ

苧田アサノ^{かんた}は、一九〇五年岡山の津山市で生まれる。二二年日本女子大学国文科に入学。卒業後、湯浅芳子、宮本百合子らと交流。三一年秋、日本共産党に入党。非合法で活動する共産党を財政的に支援する知識人、文化人らと活動。三二年一月十日検挙され大塚署に拘留。言語に絶するすさまじい拷問をうけ、同年八月治安維持法違反で市ヶ谷刑務所に未決収監。三四年出獄、三八年石橋湛山主幹の東洋経済社に入るが、そこも辞めざるをえず津山にもどる。



敗戦後いち早く郷里で日本共産党の再建に立ちあがる。四九年一月総選挙で岡山一区から当選。五六年党中央婦人部長。六二年全国単一の民主的婦人組織の結成よびかけ人となり、「新日本婦人の会」結成。七三年八月五日病没。享年六十七才。

日本女子大学以来、苧田アサノを支えつづけ、よき相談相手であつたのが舎監山原鶴先生であつた。大学への警察の介入にも断固として生徒名簿を渡すことを拒否し、日女大を辞めざるをえなかった。面会に訪れる苧田の母を励まし、戦後は当選した苧田の上京を受け入れた。東慶寺で茶道の師範をしておられた山原鶴先生が寺の一角に石の観音像と顕彰碑を建立した。戦前ともに闘った女子社研の友の名も刻んだ。いまは山原鶴先生はじめ苧田アサノの分骨もとにもねむっている。

(神奈川県本部 薄賀孝子)

去る六月二十日、自・公両党は「教育三法」の採決を、国民的な反対運動を押し切つて強行しました。日本国憲法の理想実現のための教育を、戦争する国の人間、差別と競争社会の人間づくりに代えてしまおうという改悪された教育基本法を、学校現場に具体化するための策略で、明らかに憲法九十八条違反の暴挙です。

その概略は、①(改悪された)

時の焦点

「新しい教育理念」を学校現場におしつける。学校に副校長はじめ新しい職を設置し「上位下達」、分断をいっそうつよめる。②教育委員

会の自主性を奪い国が強く指図ができる。③教員免許状に十年の期限をつけ、国の認める内容の講習を受けなければ失効

「指導が不適切な教員」もやめさせる—などというもの。「付帯決議」を二十三項目も付け足さなければならなかったほどのひどい法律です。

少人数学級実現など、本来の国

自公政権の「教育改革」

の責任である教育条件整備へは全く意を用いず、もっぱら「日の丸」「君が代」強制など軍国主義教育復活をめざす安倍内閣の本性がむき出しにされた代物というべきでしょう。

こうした父母の願い、教職員の願いをも踏みにじり、強い反対の声にも耳を傾けない教育支配について、日大教授の広田照幸氏が「金をかけずに非難や恫喝で人を動かすシステムは長続きしない」と鋭く批判しています。

沖縄戦での県民の自決や、従軍慰安婦問題での「軍の強制はなかった」などの強弁は、沖縄県議会や米国下院での抗議決議までになつて国内外からの厳しい批判の波が押し寄せています。「三法案」反対を闘いぬいたある県教組執行委員会の決議は「日本国憲法の理念に立つた民主的主権者を育てる教育を推進するために奮闘すくす」と力強く闘いの決意を表明しています。(巽)

抵抗の群像

三度の検挙で獄中八年



福岡醇次郎のたたかい

福岡醇次郎は、一九〇四年四月九日生まれ。一九八六年一月九日、長崎の革命家の一人として八十一歳の生涯を閉じました。

三菱工業学校、東山学院をへて、第五高等学校、東京大学文学部英文科へと進み、東京での学生生活は科学的社会主義を学び実践の第一歩となりました。二十六歳（一九三〇年）で長崎市に帰り、林ノ内栄三、田原治雄、坂井孟一郎らとともに活動をはじめました。

一九三二年、長崎市内の印刷工場でのストライキを指導したとき、グループの一人が逮捕され、その結果全員が検挙されました。

翌一九三三年には、長崎電鉄労働者、小学校教師、大学病院看護婦、香焼在住の労働者とともに、日本労働組合評議会（全協）準備会を結成しています。

福岡は危険な工場への当時のビラ入れを次のように語っています。

「三菱造船所へのビラ入れは、風向きを利用して、水ノ浦や立神の高い丘から一度に多くのビラを空高く投げ上げ、空に舞い上がったビラが造船所内にとどくようにした」と。

一九三三（昭和8）年二月十一日、「九州共産党事件」とよばれる大弾圧があり、沖縄を除く九州六県で総数五〇八人が治安維持法違反で逮捕されました。

このとき長崎県下では、福岡、林ノ内栄三、田原治雄をはじめ革命的労働者、インテリゲンチヤなど四〇人が逮捕され、さらに数日後、坂井孟一郎も逮捕されました。これは「長崎共産党事件」とよばれた弾圧で、同年二月二十二日に「司法官赤化事件」とよぶ全

国的な検挙があり、長崎地裁判事であつた為成養之助も逮捕されています。

福岡は、懲役三年の実刑判決を受けましたが不屈に闘い、三十六年秋、諫早刑務所から出獄、ただちに反戦グループの組織活動をはじめ、また翌年には長崎大病院の看護婦チズ子さんと結婚、長女の誕生を迎えています。

太平洋戦争開始の一九四一年十二月八日早朝、福岡は妻チズ子さんとともに治安維持法の予防拘禁制度によって再び検挙されました。妻チズ子さんは一九四五年八月、長崎市内城山において原爆をうけ亡くなりました。そのため小学一年生であつた長女ハツ子さんは、疎開によって両親の愛情をうけることなく、叔母によって育てられることになりました。

敗戦後の一九四五年十月、福岡は福岡市内の藤崎刑務所からそのままの姿で父の実家佐賀県太良町に帰ることができ、姉や妹たちから心温かく迎えられました。弟の洋服や靴などを身につけ、ようやく社会人らしくなったのもつかの間で「兄はすぐ長崎方面にでかけました」と妹さんは話しています。

福岡は、検挙三回、獄中生活八年の不屈の闘いをへて、戦後十月一日、日本共産党に入党し、長崎県党の再建にとりくみました。

* *

戦後一九四六年四月一日、福岡は最初の衆院選挙に宮島豊とともに立候補、衆・参院選あわせて五回立候補しています。当時の立会演説会の模様を島原市立第二小学校で見た思い出として、故池田清徳は「福岡さんが「大東亜戦争は日本独占資本の亜細亜支配のための帝国主義侵略戦争であり、最高の責任者は天皇である」と喝破すると、会場は野次と怒号で総立ちとなり大変な騒ぎとなった。あのときの福岡の勇姿が強烈な印象として今でも鮮明に焼きついている」と語っています。

その後も一貫して職業革命家として県党の中心となり日中友好協会県連会長、平和委員会、長崎憲法会議などの役員として活躍してきました。

〈長崎県本部会長 吉田次雄〉

同盟歌壇

碓田のぼる選

新潟県 加茂川ハル子
爵位など刻みし墓の並ぶ奥に無名戦士の墓は鎮もる静岡県 江川 佐一
《評》墓場にまで階級を持ち込むものと無名戦士との鮮やかな対比。

わが党のパンフ渡せばじつくりとかがまりて読む人と会う

《評》感動してパンフを読んでいる人に思わず感動している。

東京都 若林 義文
外地兵は餓死をなすとも上官に殺されようとも戦死なりけり

《評》こうした「名誉の戦死」に作者の怒りは今も消えない。

東京都 すずき・すみ江
文豪が「日和下駄」にゆきし江戸の起伏当節の老女私はスニーカーで行く

《評》回想が面白い連想となつて楽しいと「当節の老女」は歌う。

和歌山県 中平喜祥

招かれて「九条の会」に出席す多くは知らぬ人に交じりて

《評》「九条の会」が広がっていることをうかがわせる一首。

岐阜県 和田 昌三

手作りのチケット・チラシ準備して「日本の青空」の会議に向かう

《評》「日本の青空」を成功させるための作者の思いがにじむ。

鳥取県 大久保禮吉

わが胸に名医の魂植え呉れる君に感謝して不屈に生きる

《評》植えたのは心臓ペースメーカー。名医の君は教え子と附記。

東京都 山崎 元

盲導犬の頭を撫でつ少年は選挙募金に小銭を入れぬ

《評》視覚障害者の後援会の人たちの街頭活動と少年との出会い。

映画 『日本の青空』

「押しつけ憲法」論を打ち破る大きな力に

日本国憲法制定の真相を、劇映画の形で描く『日本の青空』（監督・大澤豊）は、大衆的な製作資金協力で完成、いま全国で上映中です。

映画の主人公・鈴木安蔵教授は、戦前の一九二六年、京都学連事件で検挙された治安維持法弾圧第一号の一人であり、戦前は静岡大学に赴任して活躍したことから、静岡では前静岡大学長を代表に「映画日本の青空を支援する会」が組織され、一枚一〇〇〇円の製作協力券を九六〇〇人以上が購入する運動になり、いま県下各地の「九条の会」を中心に、積極的な上映活動がすすめられています。

小生の住む藤枝市でも、市内に誕生した九つの「九条の会」を中心に、積極的な上映活動がすすめられています。



市内に誕生した九つの「九

空」製作委員会・電話03-3540-0617（静岡県・遠藤正）

日本母親大会の成功と 同盟活動を発展させましょう

中央本部女性部長 溝渕 政子

会期を延長してまで悪法を強行した安倍自公政権は、戦争する国づくりへ暴走しています。

安倍首相は「戦後体制からの脱却」を唱え、くらし、平和、憲法、民主主義をこわしています。人間としての権利も尊厳も奪い「生命切捨て」の事態をうみ出しています。このようなとき「生命を生き守り、育てた」母親大会が五十二年目を迎えました。

同盟女性部は平和と民主主義の分科会に参加し、残虐な弾圧に屈する事なく侵略戦争と暗黒政治に反対した父や母を語り、それを支えた家族の不屈の伝統を全国のお母さん達に伝えると共に運動を進める役割を訴えます。また東京、埼玉の女性部の仲間がゼッケン、腕章、旗を持って、パレード、署名行動のお世話をしてくれそうです。各県実行委員会の都合もあると思いますが、同盟の黄色のゼッケンのもとに集まりましょう。

現憲法のもとで、営々と築いて

きた民主的体制を守り発展させる

か、戦前の侵略戦争の体制への回帰を許すのか、日本の民主主義をめぐらしたかが今ほど大切な時はありません。女性部のみなさん、闘いの先頭にたちましょう。

▼八月二十五日(土) 17時

芝公園発 母親パレード

▼八月二十六日(日) 10時

分科会「平和と民主主義」

於・川口リリア

「中国平和・連帯の旅」 申し込みはお早く

10月5日～10日(5泊6日)

《旅のポイント》

◎八路军抗日記念館・見学

◎城砦の古都・平遥訪問

◎山西大学生 中国国際交流協会

との懇談

募集人数35名 締切9月14日

問い合わせ先 富士国際旅行社

(03-33357-3377)

担当 小野寺研一／尾島礼子

〈寄贈された図書〉

『若杉鳥子』―その人と作品

奈良達雄著 東銀座出版社刊

定価一五〇〇円

『荷馬車轍の娘の手記』

杉内いち著 同盟島根県本部刊

定価一〇〇〇円

事務局 日誌

6月7日 日本国際法律家協会理事

事会

6月9日 婦団連幹事会

6月9日 「九条の会」全国学習会

6月9日 あかしや法律事務所創

立三周年の集い

6月10日 中西会長を見舞い訪問

6月12日 国際人権活動日本委員

会代表者会議

6月14日 自衛隊による違憲・違

法な国民監視活動についての

報告、抗議集会

6月18日 「不屈」編集会会議

6月19日 中央三役会議

6月19日 亀戸事件第一回実行

委員会

6月26日 葛飾ビラ弾圧高裁公判

6月27日 「不屈」編集作業

●特別寄稿「戦争と治安維持法を踏まえて戦後の日本を見る」＝吉岡吉典

『治安維持法と現代』

2007年
春季号

【主な内容】「改憲の略奪狙う『改憲手続き法案』」＝金子勝、「教育基本法改悪阻止闘争が築いたもの」＝東森秀男、「小林多喜二の国際的評価ー魯迅、ロマン・ローラン、エミール・ゾラ」＝緒方靖夫、『田中サガヨ獄中から『チリ紙』に書かれた手紙』＝岡藤和代、「戦前の教育運動(島根・神奈川)など、「知は力」学習の好材料がいっぱいです。A5版、定価1000円、送料210円、各都道府県本部でお求めを。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

